

Ⅲ 漢詩教材の検討と生徒の意識

—— 詩教材の扱い方を考えるために ——

鈴木 洋 一 郎

(要旨) 漢文教材において、詩特に唐詩が学習指導上どのような位置を占め、またどんな問題点があるかの実態を調査し、その取扱い方を考究した。

〔Ⅰ〕 まえがき

古典乙1の漢文入門期においては、まず生徒の関心興味度や困難点の実態を調査し、学習後の評価を確かめながら指導し、また漢文独特の文型(漢文法)について習熟させなければならない。

これらの諸問題については研究の一部として紀要第15集、第16集において報告することができた。しかし、この問題と同時に忘れてはならぬことは、その教える教材の在り方とその取扱いである。漢文学習における教材の位置は、国語科における他の科目と同様に非常に大きい。現代国語や古文の教材と比べた場合に、果して現行教科書に採用されている漢文の教材は一応学習指導要領に基づいているとは言え、国語教育の古典として教師・生徒の要請や理解に十分に correspond しているのだろうか。最近では經子類にも老莊諸子百家の文章、また小説や詩などにも、漸く新鮮さを見せつつあるが、果してこれでよいのか、また問題がない

のだろうか。このような疑問に立って古典乙1の漢文教材を調べその在り方について考察してみようと思う。そしてこのレポートは前年からの宿題の漢詩特に唐詩を中心にしてまとめてみることにした。

〔Ⅱ〕 本 論

漢文教材の実態——どんな漢詩教材があるか

古典乙1の漢詩教材は、現行教科書11冊(10社A~I₂)のものについて、近代詩について、どんな形式のものが多いか、またどのような作品(詩題)が多くとられているかその採用頻度について調査した。その結果は次の通りである。(表Ⅰ、表Ⅱ)

形式については七言絶句が特に多く、11冊中最高に採用されたもの(8冊)は次の5作品であった。

登岳陽樓、江南春、江雪、春望、絶句

次に詩人別に1題のみ採用されているものを調査すると(表Ⅲ)の通りである。これは1題でも新教材で扱うべきものであるかも知れぬと思ったからである。

(表Ⅰ) 現行教科書の漢詩別採用数

出 版 社	A	B	C	D	E	F	G	H	I ₁	I ₂
五言古詩	2	3	3	1	5	2	1	6		2
五言絶句	7	6	5	6	7	6	5	2	8	8
五言律詩	4	1	3	3	4	3	3	3	1	2
七言古詩	4	1	3	1	4	3	2	1	4	3
七言絶句	21	17	6	12	8	9	5	10	14	11
七言律詩	6	2	2	2	5	1	3	4	3	3

出版社
A~I₂
について
は
〔後注〕

(表Ⅱ) 採用頻度数(最も多いのは8冊に採用される)

- 8回…登岳陽樓、江南春、江雪、春望、絶句……
- 7回…春曉、飲酒、送元二使安西、黃鶴樓送孟浩然之広陵、涼州詞
- 6回…早発白帝城、黃鶴樓、山行、香炉峰下
- 5回…鹿柴、登高、磧中作、左還至藍關示姪孫相

- 4回…子夜吳歌、静夜思、竹里館、独坐敬亭山、楓橋夜泊、兵車行、長恨歌
- 3回…峨眉山月歌、漁翁、登觀鵲樓、月下独酌、贈汪倫、山中問答、山中對酌、送友人

漢詩教材の検討と生徒の意識

(表Ⅲ) 詩人別、作品分類表

(A, B, C……は後注に)

出版社	計	A	B	C	D	E	F	G	H	I ₁	I ₂
李白	8	横江詞				望廬山瀑布	秋浦歌				越中懷古
		王階怨					訪戴天山道士不遇				蘇台覽古
		渡荊門送別									
杜甫	10	聞官軍	石壕吏	哀江頭		絕句			贈衛八處士	月夜	
		客至							羌村	江村	
		贈花卿									
加知章	1	回卿偶書									
劉禹錫	2	石頭城	秋風引								
白居易	7			暮立	時世粧		黑潭竜				夜雨
					遊山村		新豐折臂翁				
					秋夜						
岑參	1						巴南舟中夜書事				
庾韋物	2	滌州西澗							幽居		
杜牧	1	泊秦淮									
販島	1	渡桑乾									
王維	2	相思, 示夔蜀									
虛綸	1						和張僕射塞下曲				
張謂	1									題長安主人壁	
李商隱	2	夜雨寄北					樂遊原				
陳子昂	1	登山州台頭									
劉希夷	1								代悲白頭翁		
王之渙	1				涼州詞						
孟浩然	1								杜十四之江南		

漢詩学習調査

調査の目的

現行教科書の漢詩教材を調査し、分類した後、その詩の採用頻度の多いものに注意しながら、生徒がその詩にどのくらいの理解、興味をもっているかを把握してみようとした。

調査の方法

(調査用紙)

調査は次のような3項目7点について実施し、特に前述の教材については既に学習したるものを意図的に22編を抜粋し「資料」として添えた。この際理解を助けるために教科書の注を加え、叙景詩・叙情詩・叙事詩(便宜上の分類でもあったが)は大体同数ぐらいになるように工夫した。

調査の対象

高校3年全員(9月下旬)

漢詩学習調査

一、漢詩教材の位置づけ

1. 興味度

次の教材をその興味ある順に記号で書け

- イ 史伝(臥薪嘗胆、鶏頭牛後、鴻門之会)
- ロ 思想(孔子、孟子、老荘、荀子など)……先哲のことは

ハ 文章（赤壁賦、雜説（伯樂・名馬論）捕蛇者説）

ニ 詩（資料一、二、三を参考）

2. 詩人

別紙漢詩の資料（一、二）を参考にして好きな詩人を2名順序に書け。また特に好きな理由があれば簡単に書け

3. 発想分類

漢詩（特に唐詩）を次の3つに分類する。別紙漢詩の資料を読んでどの発想法またその詩に興味をもつか、そう感じた理由をも書け。

- ① 叙事（景）詩 自然美を描き静観自適の詩
- ② 叙情（人）詩 友人や家族などへの感情をこめた詩
- ③ 叙事的な詩 自然などの描写を通し社会への諷刺、怒りの詩

二、漢詩の形式

1. 長 短

A. 漢詩のうち、長詩（古詩、物語詩・資料三）と短詩（絶句、律詩）どちらに興味があるか……一般的に言って

B. また、それぞれのよいところを書け

2. 近体詩

概して親しみやすい詩型順に書け

- イ. 五言絶句
- ロ. 七言絶句
- ハ. 五言律詩
- ニ. 七言律詩

三、唐詩人

1. 4詩人の好きな詩（記入は誌の番号①②……で）別紙資料(-)(=)の4人の詩12編から好きな詩4編を選べ。同一作者のもの何編でもよい。その理由を簡単に
2. 別紙資料(=)6人10編（主題別）から興味ある作品を3編選べ。その理由を簡単に書け

資 料 (-)(=)(=)

調査の際に添えた詩はの通り

A. 叙景詩 8編

李白…早發白帝城，独坐敬亭山
杜甫…絶句 孟浩然…春暁
杜牧…山行 王維…竹里館，鹿柴
陶潜…飲酒

B. 叙情詩 7編

李白…黄鶴楼送孟浩然之広陵，送友人
杜甫…登岳陽楼，登高 陶潜…責子
王維…送杜十四之江南，送元二使安西

C. 叙事的詩 7編

李白…子夜呉歌 杜甫…春望，石壕吏
岑参…磧中作 王翰…涼州詞
白居易…燕詩，黒潭竜

調査結果

一、教材に対する興味

漢文教材を、史話、文章、思想、詩と四大別しその興味順を調査した。調査紙にはそれぞれの分類したものの具体的な例を添えておく。その結果は、史話（鴻門之会などが印象的）漢詩が最も多く、次に文章類で、思想教材（先哲の名文）などは余り好まれていないことがわかる（表Ⅲ）

二、漢詩についての調査

1. 詩人

前掲の22編の作品のある8人の中から好きな詩

人を2名挙げさせると、

杜甫が最も多く、次に李白、陶潜、孟浩然であった。磧中作や涼州詞などに興味を示しながらも岑参や王翰などはその作品が少なかったために多数ではなかった。竹里館、鹿柴の作者王維などは余り好まれていない。（表Ⅴ）

2. 形式

五言の詩それも絶句、律詩の順で好まれる。七言律詩は敬遠されている。律詩や叙事詩のような長い古詩は十分に理解されないために避けられ、それに反して絶句などの短詩型の叙情的リズム性のあるものが好まれている。（表Ⅵ）

3. 発想分類

22編の詩を、A、B、Cと三別することには無理なところもあり、また誤っている点もあるとは思ったが、敢て自然閑適、隱棲の詩をA.叙景詩とし、友情を詠じ、肉親家人を想う詩をB.叙情詩とし、社会、国家に関心のある所謂白楽天の新樂府的な詩をC.叙事詩とした。しかし唐詩の発想として叙景から叙情へ、また叙景から叙事へと移向する……客観から主観への統合へという発想形式が一般的なので、この分類には問題を残している。

〈叙景詩〉叙情・叙事詩に比べると興味はうすい。花鳥諷詠的な悠々閑雅な精神には現代は余り関心を示さない。しかし杜牧の山行のような絵画美はよく鑑賞され理解されている。

〈叙情詩〉友人を想う送別の詩などは友情を大

にするこの若い年代には十分理解ができ、また興味を示していた。更に白楽天の燕詩のような肉親の愛情を諷刺的に詠んだ詩に関心をもっているが、一面批判的精神への自覚として注目することができる。

〈叙事詩〉一般に古詩で長詩が多い。その物語のストーリーの理解が十分でない興味も半減する。杜甫の石壕吏や白居易の黒潭竜のような長詩は生徒の興味・関心から見ても新教材として堪える性格をもっている。その他兵車行や売炭翁なども同様に考えられるが、これらの作品は寧ろ詩として鑑賞指導するよりも散文、文章詩的取扱いにおいて生徒に親ませる方が指導上効果があると思う。杜甫の春望の詩は早くから親しんでいるのでその人気は抜群であった。(表Ⅶ)

4. 作品

生徒の選んだ作品を上位6編を挙げると次の通りである。

1. 春望 (杜甫)
2. 燕詩 (白居易)
3. 絶句 (杜甫)
4. 送友人 (李白)
5. 送杜十四之江南 (孟浩然)
6. 山行 (杜牧)

それに続いて家人家郷を想う登高の詩 (杜甫) やユーモアのある陶潜の責子、更に王翰の涼州詞なども好まれている。(表Ⅷ)

(表Ⅲ) 漢文教材に対する興味順位

	1位	2位	3位	4位	備考
史話類	47	23	28	18	教材中最も好まれる
思想類	17	28	23	49	興味度低い
文章類	13	37	35	31	やゝ好まれない
詩類	41	30	31	16	史話と同様の興味

(表Ⅴ) 既習作品を通してみな好きな詩人

※資料の8名の詩人から2名を選ばせる。

杜甫	李白	陶潜	孟浩然	杜牧	王翰	王維	岑参
101	54	27	23	6	6	4	0

(表Ⅵ) 詩の形式についての興味

		1位	2位	3位	4位	
長詩 (古詩)	39	五言絶句	51	22	24	23
		七言絶句	15	44	36	24
短詩 (絶句)	80	五言律詩	42	33	36	9
		七言律詩	12	21	18	67

(表Ⅶ) 発想分類の興味 (頻出の既習22編について)

分類	1位	2位	3位	内容
A叙景詩	39	32	47	自然閑適 風雅の詩
B叙情詩	35	45	38	送友人や想家人の詩
C叙事詩	43	45	30	社会批判, 反戦の詩

(表Ⅷ) 作品に対する興味

題	分類	作者	数	題	分類	作者	数
春望	C	杜甫	87	黒潭竜	C	白居易	43
燕詩	C	白居易	74	登高	B	杜甫	41
絶句	B	杜甫	61	子夜歌	C	李白	36
送友人	B	李白	54	責子	B	陶潜	34
送杜十四...	A	孟浩然	54	碣中作	C	岑参	30
山行	A	杜牧	51	送元...	B	王維	29
涼州詞	C	王翰	44	登陽岳樓	B	杜甫	27
飲酒	A	陶潜	43	春曉	A	孟浩然	26

三、まとめ

漢詩教材の検討の基点としてまず現行教科書の漢詩の分類から始め、その中から多く採用されかつ生徒の理解できる作品を中心に調査を進めた。A社の教科書のように作者一人につき一編しか採用されていない作品中にも棄てがたいものがあったが、既習のものからとする考え方から己むを得ず〈資料〉からは除外した。これらの作品は再度別な観点から検討してみたいと思っている。調査した22編の教材についての考えをまとめてみると

1. 自然閑雅な詩への接近はむずかしい

最近の教科書は、比較的この種の叙景詩は少なくなっている。杜牧の「山行」のような純客観的な叙景詩—山水画の一には興味と理解とを示しているが、所謂、隠棲、静観の詩、老狂的な自然無為の境を詠ずる詩には生徒は興味を示さない。勿論、これらの詩には自然と一体となった清澄、無礙の心境、深遠な東洋哲学の一面がうかがわれて、この現実の世界からは余りにも隔絶感を与え、その詩に生徒をひき入れて鑑賞することはむずかしい。この種の詩の問題点と限界、そして指導上考慮すべきもののあることを感じる。

2. 人間関係を詠ずる詩は注意し検討してゆきたい

家庭における団欒を想い、他国に遊客として家郷を恋い、友と集い、また送り別れる友情の溢れている詩がこれらで、杜甫の詩などには多くの詩

が発見できる。これらの詩はいずれも人間関係の温かさを感じさせ、生徒の心の中にも素直に入り理解できるものである。ただ白居易の燕詩のような詩——親子の愛情をとり上げ、現代の親子間の問題に、共通する何かを投げかけているものとして——には考えさせられるものがある。肯定的に観しやすい親子の愛情を否定的に諷刺的に述べているこの詩には何か問題を残したのと思うしこのような教材は今後も採り上げられてゆくことが望まれる。男女間の恋愛をうたった詩ももっと採りあげてほしいという生徒の声にも注し意しなければならぬ。

3. 社会詩や反戦的な詩についても注意してゆきたい

詩は志の之く所であるとは詩経の序にあるところで、その本来の姿は国家社会教化のものであり誌経の国風の精神は詩に一貫するものである。四書の中に引用された詩経の語などにはその片鱗がうかがわれるが、従来の教科書の詩教材にはそのような「国風」的な作品よりも個人中心の心境、感情を詠じたものが多かった。この調査中にあらわれた杜甫や白楽天の新楽府の詩への共鳴は、今後の詩教材の発見・選定に多くの示唆を与えたものと思う。もし漢文の詩教材が史話教材とは別な意味で生徒の心にアピールさせようとするならば社会の矛盾を正視し、政治に対して正しい姿勢を示し、戦争に反対し、平和を希求するような詩の出現を待たねばなるまい。そこに詩教材の新しい位置づけがあり、今後の漢文教育の姿があるといっても過言でない。

〔Ⅲ〕 むすび

学習指導において大切なことは、生徒の学力・興味の把握そして教材の必要性を理解させ、自主的にその教材の中に飛び込んでゆかせることである。漢文学習の場合には、この点多くの障害をもっている。漢詩については詩生徒の好悪の数は相半ばするが、他の教材に比べては比較的好感をもつものが多い。しかし単にその詩の内容をわからせ、また批判的精神を養うことができても、詩のもつ押韻やリズムという特徴を考えながらの指導は除外されてしまうのも問題として残った。

漢字は国語の場合と違い一字一字に意味をもっているものであり、漢詩はその表意文字が美しく凝縮された芸術作品であり、それが一千年以上も過ぎた現代人の心の中に「古典」として脈々と受け継がれ輝いている意義を再認識の必要がある。しかし現実的には漢文に対する生徒の趣向は急速に変わりつつあるとき、漢

詩などの漢文教材は新しい観点に立って、検討する必要を痛感するものである。そこには単に漢文学者や教師の参加だけでなく、広く文化人、現代中国研究家の声を聞かなければいけない。漢文を現代人のものとするためにも。

終りに漢詩に対する生徒数人(A~D)を声を聞けば、

A…私たちが日常使っている漢字の羅列だけなのに詩という型をなすと私の心を圧迫するものが出来てくる。中国の詩人の生き方はスケールが大きくその人生観に教えられるところが多大である。詩と人生とがすごく密接に結びついている。口調が良い。誦暗しやすい。

B…漢詩の中にはゴツゴツとした文字でいかめしそうであるにもかかわらず、人の心の愛や自然の微妙な動きをつかんでいる。あれだけの文字で一枚のキャンバスを作りあげ、また動かしている。

C…唐時代からの近体詩はそれ以前の古詩と比べ、制限がありピリッとしまっている。また有名な詩人が多くうまれている。社会批判もいいが、ただ書くだけではなんにもならず、しかし1000年も前に、すでに政府に対して痛烈な批判ができるのはすばらしいと思う。

D…意味はよくわからないものもあるが、読んでみて、リズムがあり読みやすい。内容も悲しいものおちついたもの、当時の圧政に苦しむ人民の様子を描きながら政治を非難するもの、さまざまがみんな広大な自然と一緒に描かれているので、一層悲しさを与えている。

E…私はやはり長詩が好きだ。自分の思うことを割に自由に表現できているからだ。絶句・律詩などことなく無理を感じてしまう。型にとらわれずにうたわれた長詩それがすばらしい。長詩は七言でうたわれると一番リズムがよい。しかし子夜呉歌などは古体の詩にはいって短い詩であるがリズムもよち型も変わり自由さがあり、また余情を感じさせる。

〔後注〕

出版社 A大日本書籍 B明治書院 C角川 D
実教 E講談社 F三省堂 G東京書籍
H大修館 I尚学